

ニュース・パトロール

3連、合併に調印

4月1日に正式誕生

農協の機能拡大に対処するため、県下の各種農協連合会は一昨年（38年）2月に岡山県農協組織整備委員会を設置し、連合会組織を指導、金融、経済の3部門にする整備統合事業を進めてきた。その第1段階として、まず経済部門のうち、経済連、園芸連、総合畜連の3連合併が1月28日、岡山市磨屋町の県農業会館で調印された。この新連合会は4月1日から正式に発足する。

なお、養蚕連、酪連は内部事業により今回の合併には参加していない。

（山陽新聞 1月29日）

第13回岡山県農協大会開かる

岡山県農協大会は13回を積ねて、2月10日、岡山市磨屋町の県農業会館において、来賓多数を招き、農協役員約6百名が参集して開かれた。

同大会では農畜産物価格対策、営農団地造成、生活面活動の積極化などの議案について話合われた。

なお、上道農協、真備町農協の2農協が、優良組合として表彰をうけた。

（山陽新聞 2月11日）

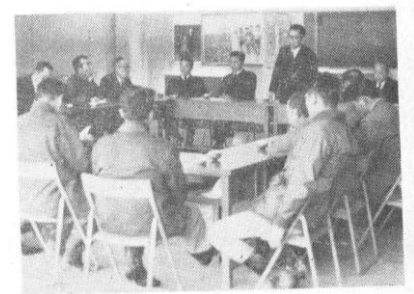
倉敷、旭東地区でサイレージ共励会

第6回倉敷市サイレージ乾草共励会が1月22日、同市内でサイレージ35点、乾草22点が出品されて開かれた。優秀賞にはサイレージの部で藤沢正夫、諏訪稔、中桐富夫、岡本竹夫の各氏乾草の部では藤井孝志、宇野弘之、小池宇之助、中務隆の各氏が選ばれた。

同じく1月22日に西大寺市では第2回旭東地域サイレージ共励会が84点の出品を集めて開かれた。1等賞には竹原研介、出将輝夫、国光秀生、岡崎正三、出射啓治の各氏が選ばれた。

各地で畜産コンサルタント講演会が

岡山県畜産会では今年度（昭和39年度）より新しく畜産コンサルタント事業を開始し、19の市町村を診断地区に指定して事業をすすめている。その事後指導の一環として受診地区の要請によって各地で畜産コンサルタント講演会を開いて、農家から好評を得ている。これは受診地区から要請のあった県内の講師を依頼して、技術、経営の各方面にわたって実施から指導している。1地区2回の講演会を開く予定であるが、昨年9月から始め好評のため、すでに2回を消化した地区もあり、3月いっぱい終了する予定である。



新見市の講演会風景 上原講師